

# 2014年度 情報シス

## ミッション

企業の知的財産活動を支えるため、

各国の特許庁や特許事務所を経る知財情報に関する調査・研究、

企業内での知財情報の活用に関する調査・研究、

知財業務の効率化に関する調査・研究

を情報システム視点で行い、

企業内外の情報システムのあるべき姿に関する情報・提言を

国内外の企業・特許庁・特許事務所に向けて発信する。

## グローバルドシエPJ

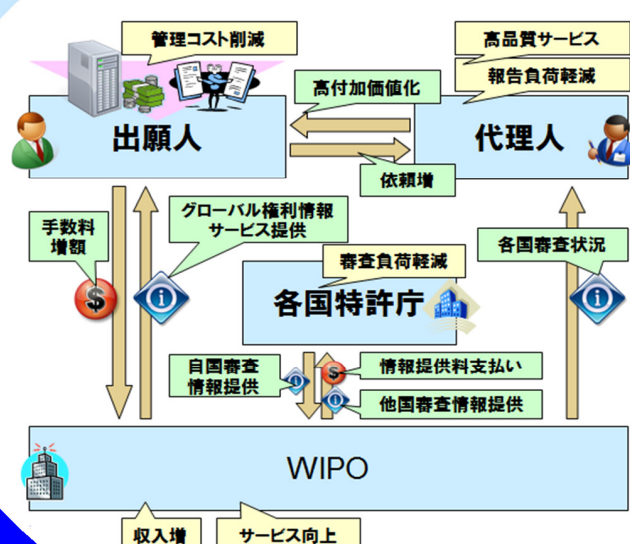
|        | 2006                                     | 2013                                  | 20XX                               |
|--------|------------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| JPO    | DAC<br>デジタル・アクセス・サービス<br>審査関連情報の<br>相互参照 | OPD<br>ワン・ポータル・ドシエ<br>審査関連情報の<br>一括表示 | GD<br>グローバル・ドシエ<br>審査関連情報含む<br>全包装 |
| USPTO  |                                          |                                       |                                    |
| EPO    |                                          |                                       |                                    |
| KIPO   | 2007年KIPO接続                              |                                       |                                    |
| SIPO   |                                          |                                       |                                    |
| WIPO   |                                          | WIPO-CASE連携<br>(一部の国のみ)               |                                    |
| Others |                                          |                                       |                                    |

三極で開始した審査関連情報共有の仕組みをベースに、  
対象国や対象情報を拡張

### グローバル・ドシエとは？

各庁のドシエ(包装)情報等を  
仮想的に統合し、一元的な  
サービスを提供する共通  
システムを構築する将来  
ビジョン

全ての関係者が、Win-Winの関係を築けることを目指す



|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| <b>出願人</b><br>WIPO手数料増額以上に、権利化に必要なシステム・運用・管理工数の削減や権利の質向上が図れる |
| <b>代理人</b><br>各国の審査状況を参考に最適な対応が可能                            |
| <b>各国特許庁</b><br>他国の審査情報を利用して自国の審査負担を軽減できる                    |
| <b>WIPO</b><br>サービス向上により、利用者や権利数の拡大、また収入増等が見込まれる             |

システム化には標  
が必要になります  
一社だけでは実現  
委員会活動を通じ

短期目標：  
各国庁書類及び提出  
書類の調査

中期目標：  
書類及び項目のコード化・共通化

長期目標：  
電子流通網の交通ルール確立

### 第1小委員会

グローバルな知財情報の効率的かつ  
正確・迅速なデータ処理方法の研究

# テーマ委員会活動

## 第2小委員会

### 経営判断に資する意思決定支援システムの調査研究

経営者は欲しい情報を判っている訳ではない？

意思決定支援

蓄積データの活用、  
知財創成支援

経営者が知財に求めていることは？

管理から創出に

知財情報以外の情報との連携  
分析に必要な情報と他システムとの連携

必要なデータ・指標に  
応じた情報とシステム  
の一からの見直し

シンプルな管理、  
重要な日付、  
データ提供/取り込み  
データ重複、  
庁データの活用  
データソースの使い分け

経営判断に資する  
意思決定支援システムの検討

将来の知財管理システム  
と知財業務の在り方

知財・開発戦略に寄与する  
特許「実施情報」の活用手法の  
提案(2012年)

企業内他システムと連携を行う  
ための知財システムの検討  
(2010年)

社外リソースを活用した  
知財管理の検討(2013年)

知財部門からの  
情報発信のあり方  
(マネジメント委員会2012年)

次世代知財情報解析システム  
の検討(2010年)

知財管理システムに  
クラウドサービスを  
適用した場合の  
課題の研究(2012年)

経営に資する知的財産評価指標の見  
える化(マネジメント委員会2006年)

企業の組織成長に合わせた知  
財管理方法の選定手法の検討  
と提言(2012年)

短期目標:

知的財産の分析・  
解析・マップ化各ツールの調査・研究

中期目標:

知財情報についての「意思決定支援システム」の検討

長期目標:

他の情報・システムと連携した  
「意思決定支援システム」の検討

準化・仕様の共通化

。困難な課題を  
て解決しましょう!!

#### 特許庁最適化計画PJ



特許庁が構築する次期システムにユーザ利便性を向上する機能を入れるよう特許庁に継続的かつ的確に要望を伝えるとともに、最適化計画の推移を注意深く見守る。

#### 特許庁業務・システム最適化計画とは？

継ぎで構築されてきた日本特許庁内の基幹システムを統一の構想・プラットフォームの元に全面刷新する大プロジェクト。

ここで決定された仕様は日本全ての知財活動に影響を及ぼす



-世界から期待され、世界をリードする JIPA-  
Creating IP Vision for the World